

2025年春

開倫塾創業45執念記念事業・開倫塾塾長講話事前資料

## 新・高校生としての学び方を考える —高校生としての自覚をもって学ぼう—

開倫塾  
塾長 林明夫

### <プロフィール>

- ・開倫塾日本語学校校長
- ・開倫ユネスコ協会会長
- ・学校法人有朋学園有朋高等学院理事長（福島市）
- ・作新学院大学客員教授
- ・宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
- ・佐野学園（神田外語大学グループ）エグゼクティブアドバイザー
- ・公益社団法人栃木県経済同友会理事
- ・一般社団法人栃木県生産性本部会長
- ・公益財団法人文字活字文化推進機構評議員
- ・社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事（足利市）

### <はじめに>

- （1）皆様のご支援のおかげで、開倫塾は、2024年10月、創業45周年を迎えることができました。ありがとうございました。心から感謝いたします。
- （2）そこで、これまで45年間、開倫塾をお支え頂いた塾生・保護者・地域社会・ビジネスパートナー・開倫塾のスタッフの皆様、すべての皆様に感謝し、「開倫塾創業45周年記念事業」として「塾長講話」を開催いたします。
- （3）本日は、高校生の皆様に、「新・高校生としての学び方を考える、一高校生としての自覚をもって学ぼう」というテーマでお話いたします。

この「開倫塾塾長講話事前資料」はお読みになりやすいように、すべて、QandAで作らせて頂きました。ぜひ、何回か、折に触れお読みになり、ご活用、ご参考にしてください。では、始まりです。ごゆっくりお読みください。

Q 1 : 高校生の卒業後の進路はどうなっていますか。

A : (1) 2024 年卒の高校生は、高校卒業後、62.3%と 6 割が 4 年制大学へ進学 (浪人を含め)、25%と 3 割弱が短期大学・専門学校・専修学校に進学、合計 87.3%と 9 割近くが、「高等教育機関」に進学を果たしています。



(2) 「高等教育機関」への進学率は、2023 年春は 84.0 %でしたので、1 年間で 3.3 %増加。そのうち、「4 年制大学」への進学率は、2023 年春は 59.1%でしたが、2024 年春は 62.3%と 3.2%増加。4 年制大学への進学率が増加しています。

(3) <ご参考>

① 4 年制大学、短期大学・専門大学・専修大学・大学校などを、「高等教育機関」といいます。

② 小学校は「初等教育機関」、中学校・高校は「中等教育機関」といいます。

③ また、中学校での教育を「前期中等教育」、高校での教育を「後期中等教育」といいます。

○ 大学などへの進学が毎年増えていますので、数年中には、「高等教育機関」への進学率は、9 割は超えると思われます。



Q 2 : なぜ、高校卒業後、大学や短期大学、専門学校や専修学校、大学校など「高等教育機関」に進学する割合が、9 割に迫り、9 割を超えそうなのですか。

A : 理由はいろいろ考えられます。

(1) ① 現代の社会は「知識が基盤になった社会 (知識基盤社会)」「グローバル化社会」「難しい課題が次々押し寄せ山積している社会 (課題山積社会)」です。

② そこでは、高校までの勉強では間に合わない。

③ そのために、より高度な勉強が多くの人にとって必要だからです。

(2) ① 世帯当たりの子供の数が減り、高校卒業後、「高等教育機関」で学ばせることができる家庭が増えたこと、

② 奨学金制度が少しずつではありますが整備されてきたため、

③ 経済的に進学が可能になったという理由もあります。

(3) ① 18 歳人口が激減しているため、定員割れを起こしている大学、短期大学、専門学校、専修学校がかなり多く、以前よりは入学しやすくなっているという、受け入れ側の理由もあります。

② 今後、私立高校を含め高校の授業料無償化、大学などの授業料無償化が、進むと思われます。

③ 「高等教育機関」への進学はさらに進み、9 割を超えられると思われます。9 割 5 分に迫るとも考えられます。



Q 3 : このことは高校生にとってどのような意味があるのですか。

A : (1) 大学、短期大学、専門学校、専修学校など「高等教育機関」への進学チャンスが大幅に増加したことを意味します。

(2) <過去 10 年ごとの高等教育機関へのおおよその進学率>

- ① 1960 年、約 10 % < 80 代の方 >
- ② 1970 年、約 20 % < 70 代の方 >
- ③ 1980 年、約 50 % < 60 代の方 >
- ④ 1990 年、約 52 % < 50 代の方 >
- ⑤ 2000 年、約 70 % < 40 代の方 >
- ⑥ 2010 年、約 75 % < 30 代の方 >
- ⑦ 2020 年、82.8 % < 20 代の方 >
- ⑧ 2024 年、87.3 %
- ⑨ 202X 年、90 %
- ⑩ 203Y 年、95 %



(3) この歴史や現実を踏まえ、では、高校生である皆様は、高校卒業後、どのような選択をしたらよいか。これからじっくり考えてまいりましょう。

Q 4 : 新高校 1 年生、2 年生、3 年生として、卒業後の進路についてどのように考えたらよいのですか。

A : (1) ①高校卒業後、6 割以上の方が、4 年制大学に、2 割 5 分の方が短期大学・専門学校・専修学校へ進学しているのなら、自分も「とりあえず」同じように進学しようとする方が多いのではないかと思います。



②みんなが進学するから自分も「とりあえず」進学するという考えもよいかもしれませんが、せっかくの、一生に一度しかない大切な人生です。

③大学や短期大学、専門学校・専修学校は、各々学校により、目的や役割、研究や教育、やり方・方法、期間や場所、費用が、それぞれ異なります。

(2) ①そこで、何のために大学などの高等教育機関に進学するのか、進学を目的をよく考えて、高校卒業後の進路選択をなさることを、おすすめいたします。

②まずは、自分が「高校卒業後にしたいこと」「今、できること」「社会人として、しなければならないこと」をよく考える。

③あまり考えたことがなければ、高校での勉強を進めながら、まずは、「新聞を読み、世の中の動きをしっかりと知る」ことをおすすめします。同時に、「これぞという本」を、一語一語、腰を落ちつけてしっかりと読み、「著者との時間や空間を超えた対話（時空を超えた対話）」を行うことをおすすめします。

(3) ①「新聞」を読み、世の中の動きを知り、「自分で考える力」と、「これはちょっとおかしいのではないかと考える力」、つまり、「批判的思考（クリティカル・シンキング）能力」を身につける。

②さらには、「読書」をしっかりと行い、「思慮深さ」「省察力（自分を振り返る力）」を身につける。

③高校生は、学校の各教科の勉強も大事ですが、同時に、「新聞」と「読書」に慣れ親み、学習習慣とすることで、「世の中のことを知り」「自分を見つめ直す」。そして、「高校生としての自覚（覚悟）」をもって、勉強することをおすすめします。

○お小遣いをため、辞書や本を購入いたしましょう。週に1～2回、コンビニで新聞を購入、第1面から最後のページまで、なめるように読み、新聞に慣れ親しんでください。



Q5：家では新聞を取っていません。辞書や本も、あまりありません。新聞や本を、じっくり読む場所がありません。どうしたらよいでしょうか。

A：(1) ①答えは簡単です。

②「学校図書館」と、地域の「公共図書館」に慣れ親しみ、最大活用することです。

③学校図書館、公共図書館に毎日通いつめ、最大活用すれば、高校や大学、社会に出てからの「勉強に関する問題」は、ほぼ解決します。



(2) ①学校の登校日には、1日1回以上、「学校図書館」に出かけ、「辞書」を活用、「新聞」や「本」を読む。

○どの図書館にも、辞書がたくさんあります。「意味のわからない言葉に出会ったら、辞書を用いて調べる」「辞書で調べたこと」は、「意味調べノート」に「書き写す」。

②「新聞ノート」を必ず持参し、参考になる記事、興味のある記事の「ポイント」だけでも「書き写す」。

③「書き抜き読書ノート」を持参し、「本を読んでいて、これぞという語句や文章に出会ったら、書き写す」。

○「学校図書館」を「自分の居場所にする」。

(3) ①学校に行かない日や、学校帰り、学校が早く終わる日には、「地域の公共図書館」に出かけ、「新聞」「これぞという本」を読む。「辞書」を活用する。

○公共図書館を「自分の居場所」にする。

②高校卒業後は、大学図書館と地域の公共図書館を、最大活用。大学在学中は、毎日通い、図書館に慣れ親しむ。

③「学校図書館」「大学図書館」「公共図書館」を「自分の居場所」とすることをおすすめします



＜ここでちょっと一休み、コーヒブレイクです＞

- (1) 塾長は、この20年間、毎年1回、栃木市にある「栃木刑務所」で、受刑者の皆様に、30分弱ですが、「効果の上がる学習方法」をお話させて頂いております。
- (2) お話の中で、「よく意味のわからない言葉があれば、辞書を用いて、意味を調べ、その意味をノートに書き写し、音読練習、書き取り練習などして、その場で覚えましょう。そして、身につけている言葉の数を増やしましょう。ことばは力、語彙数は力だからです。刑務所の中でも新聞は読めます。新聞をじっくり読み、自分で考える力、批判的思考能力を身につけましょう。本をたくさん読み、またじっくり繰り返し読み、著者との時空を超えた対話を行い、思慮深さ、自分を振り返る力を身につけましょう。辞書・新聞・読書に慣れ親しむために、刑務所中にある図書館が利用できる時には、最大限、活用しましょう。栃木刑務所にいる間に、辞書・新聞・読書・図書館に慣れ親しみ、社会復帰したら、週に何回か図書館に出かけ、図書館をご自分の大切な居場所の一つにしてくださいね」
- (3) このようなお話を、毎年1回、させて頂いております。受刑者の方々にとっては、初めてお聞きになる内容であるようです。参考にして頂ければありがたいなと思いつつながら、お話しさせて頂いております。

Q6：医学部医学科や、東京大学、東京科学大学（Science Tokyo）、慶応義塾大学、早稲田大学など、トップ校・難関校に合格するには、どうしたらよいですか。

- A：(1) これらの大学を「第一志望校」として、進学したいと決めた瞬間から「受験生としての自覚」をもって、「充実した高校生活を送ること」をおすすめします。
- (2) 医学部医学科、東京大学、東京科学大学、慶應義塾大学、早稲田大学などトップ校・難関校に進学し、何を学び、大学卒業後にどのような生き方をしたいのかを、自分の力で考えることをおすすめします。自分で考えたことを実現するために、大学進学のために「受験生としての自覚」「高校生としての自覚」をもって勉強することをおすすめします。
- (3) 「本人の自覚」こそが、「ありとあらゆる勉強のエネルギー源」だからです。「自分のこととして、はっきり自覚をもって勉強する」と、「勉強の仕方」をどんどん工夫するようになるからです。「ハードな長時間自己学習」も、苦になりません。高校入試直前同様、高校生になっても、「2年間、3年間、眠る時間以外勉強し続けても、大丈夫」「苦になりません」。

Q7：それではお聞きします。高校生の各学年で学ぶ内容は、予習をした方がよいのですか。どのように予習をすればよいのですか。

- A：(1) ①高校で学ぶ内容は、中学校で学ぶ内容と比べ、各教科とも、はるかに高度で難しいものばかりです。

\*特に、進学校と呼ばれる高校の授業は、難しい内容が、速いスピードで進みますので、全教科、ていねいな「予習」が欠かせません。

②ですから、各教科の「学校教科書」「学校の教材」「学校で用いる問題集」は、授業時間の前までに、必ず、予習をすることをおすすめします。



③予習をしないで高校の授業に出席すると、初めてお聞きする話なので、よくわからないことが多いからです。

(2) ①学校の教科書は、授業の前に、一度、一語一語、よく読む。

②これはどのようなことなのかを、自分の力で考えることが大事。教科書を、ていねいに、一語一語、かみしめながら読み理解することが大事です。

③意味のわからない語句があったら、「辞書」や「各教科の参考書」「各教科の用語集」を用いて調べる。

(3) ①高校で学ぶ、各教科には、「参考書」「用語集」があります。自分に一番合いそうな「辞書」「参考書」「用語集」を書店で買いそろえ、身近に置きましょう。

②買いそろえることが難しい場合には、「学校図書館」「公共図書館」に備えてある「辞書」「参考書」「用語集」を、活用しましょう。

③調べた内容は、ノートか教科書に「書き写す」こと。

(4) ①「このように、教科書に書いてある内容が、一通り理解できたら、今度は、すらすらよく読めるようになるまで、全教科、「音読練習」。

②そして、大切な語句・概念、言葉の定義、「～とは、～です」は、予習の段階で、何も見ないでいえるようにする、「暗唱」することをおすすめします。

③さらには、新出語句や大事な語句は、書き取り練習。学校教科書に出ている語句は、固有名詞を含め、すべて読めて、何も見ないで書けるまでにする。

(5) ①数学は、教科書の内容を理解し、教科書の問題を、ノートに全部解く。

②次に、学校指定の問題集の問題を、ノートに全部解く。解き方がわからなければ、わかるまで考える。

③やさしい参考書の似たような問題（類似問題）や、「数学辞典」の類似問題の問題と解き方をノートに書き写し、「考える」。

○どうしてもわからない問題は、授業中、先生や友達の解き方を書き写し、後で、しっかり研究する。

(6) ①高校生として、一番よい予習は、「学校の授業が始まる前に、教科書を一通り読み終えること」です。

②自分の好きな教科、得意な教科だけでもよいですから、これからの1年間に何をどう学ぶかを、学校の授業が始まる前に、一通り「予習」しておくことをおすすめします。

\*重要語句とその意味（定義）を書き写す「サブノート」もおすすめですよ。

③教科書本文を黙読、音読、どのようなことを学ぶのかをあらかじめ知っておく。

○大学入試の受験教科だけでも、1～2年前に一通り「予習」し、「学校の授業」を最終チェック、総仕上げとする。

\*楽器が演奏できる人は、音楽の教科書に出てくる曲を、譜面を見ながら演奏してみるのも、「一興」です。



- (7) ①もっといえば、得意教科は、1教科でも多く、高校教科書レベルの勉強は、早めに終わらせる。大学入試1～2年前は、大学1～2年生の「標準的な教科書」を、ていねいに、一語一語、勉強することをおすすめします。
- ②医学部医学科や、東京大学、東京科学大学、慶應義塾大学、早稲田大学などの、独自問題をスラスラ解き、合格点を取るには、大学1～2年や、場合によっては、大学専門課程、大学院の標準的な教科書を学ぶことが求められると考えます。
- ③本年度大学入試のトップ校・難関校の独自入試の問題を、研究してください。

Q8：ちょっと前に戻りますが、大学や短期大学、専門学校、専修学校、大学校など、「高等教育機関」への進学を考えると、どのようにして、具体的な大学や学校を選んだらよいのでしょうか。

A：(1)自分で将来就きたい仕事があったら、仕事に就くために必要な大学や学部、学科、学校を、第一志望校として選択するのが一番です。

(2) ①例えば、将来、弁護士や検察官、裁判官などの法律家になりたいとしたら、司法試験に合格することが必要です。

②司法試験に合格するには、法科大学院で学ぶことが一番の近道です。で、法科大学院のある大学の法学部を第一志望校になさることをおすすめいたします。

③現在、合格率の高い法科大学院のある法学部は、慶應義塾大学法学部法律学科、東京大学法学部、早稲田大学法学部、京都大学法学部、中央大学法学部法律学科はじめ、法律学科のある大学の法学部や、法律学科を第一志望校になさることをおすすめします。

○法学部でも法律学科と政治学科の二つの学科がある大学が多く、政治学科に入学してしまうと、政治学の勉強が多くなります。ご注意ください。

(3) ①大学や学部、学科の特長をよく調べるのが大切です。参考にして頂きたいのが「価値」「意味」「秩序」という考えです。

○ものごとを考えるときには、そのものの「価値(大切さ)」とは何かをよく考える。

○「～大学～学科」の「価値(大切にしていること)」とは何かをよく知ることが第一。

②次に、「～大学～学科」の「自分にとっての意味」をよく考え、「自分にとっての意味付け」を行う。

③最後に、では、「～大学～学科」に「合格する」ためにはどうしたらよいか考える。

○「なすべきこと」「しないこと」を自分の力で考え、「自己決定」。

○自分自身のルール、行動規範(決まり)を決め、「秩序」正しく行動する。

\*この「価値(大切さ)」「意味(意味付け)」「秩序(自己決定)」の順序、プロセス、手順で、「第一志望校」を決定し、「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分の力で切り開く」の精神で、「合格まで頑張る」ことをおすすめします。



Q 9 : 「予習」を終え、次は、「授業」ですね。高校の「授業」はどのように受けたらよいのですか。

A : (1) ①大切なことは、すべてノートに取ることをおすすめします。

②何が大切かは、十分「予習」をしないと、初めて聞いただけでは、よくわかりません。

③何が大切かを知るためにも、高校の授業は、十分に「予習」をしてから、臨んでください。

○「予習は、何がわからないかを明らかにしてから、授業に臨むために行うもの」と考えます。

(2) ①「授業中に、大切なことをノートに取り続ける」には、「極めて高い言語能力」が求められます。

②英語やフランス語、スペイン語の授業を聞き、大切なことをメモし続けることができるのには、極めて高い、英語やフランス語、スペイン語の言語能力を必要とするのと、全く同じです。



③そう考え、全教科、大切なことは、ノートを取り続けましょう。大事なものは、「授業後のノート整理」と「ノートの最大活用」です。「ノート整理」の目的は、「後で勉強しやすくするため」です。番号を付けたり、線で囲んだり、必要なことを書き加えたりしましょう。

(3) ①高校生以上は、ノートは、受験勉強の時まで使える、たくさん書き込める、「A版」を使うことをおすすめします。

②ノートを「A版」に変え、一気に勉強が進み、関西の超一流大学の法学部に上位で入学し、上位で卒業した、元塾生もいます。優秀な高校生、大学生、大学院生の多くは、「A版のノート」を使用しています。

③「A版ノート」は、最近、「ローソン」の「無印良品」の「文具売り場」のコーナーで、手に入るようになりました。ありがたい限りです。

\* 高校生になったら、是非、A版ノートに挑戦を！！

